

平成30年度
(平成29年度事業)
笠間市教育委員会外部評価報告書

平成30年11月
笠間市教育委員会

目 次

1	目的	1
2	対象事業の選定	1
3	外部評価	1
4	点検・評価結果の公表等	2
5	教育目標	3
6	点検・評価対象事業一覧	4
7	評価事業の結果	5
8	事業個別評価書	8
参考資料		
	評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標	2 1
	教育委員会の活動状況	2 2
	笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱	2 8

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことになっています。

また、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たしていくこととされています。

笠間市教育委員会でも、この法律に基づき、平成29年度の教育委員会事務事業の点検及び評価を教育に関し学識経験者の助言等をいただき、教育行政サービスの質の向上と市民への説明責任を果たしていきます。

2 対象事業の選定

点検評価の対象事業は、笠間市教育振興基本計画に定める事務事業に基づき、平成29年度に教育委員会が行った主要な9事業を対象としました。

3 外部評価

外部の学識経験者で構成された「笠間市教育委員会外部評価委員会」により、各担当課の事業ヒアリングを実施し、評価事業を客観的に検証し、改善に対する意見及び提言等を行いました。

(1) 外部評価の視点

- ①事務事業の信頼を確保するため、内部評価を客観的に検証します。
 - ア. 事務事業の設定は適切か
 - イ. 指標の設定は適切か
 - ウ. 現状の把握や課題の認識がされているか
 - エ. 分析を踏まえ、論理的な方向性が選択されているか
- ②職員の意識改革・事務事業の改善につなげるため、課題解決への取組を検証します。
 - ア. 事務事業が課題解決の手段として妥当か
 - イ. 事務事業の実施方法は妥当か
 - ウ. 事務事業の効果、効率性は適切か
- ③基本計画に記載されている数値目標を含む事業について、指標を評価します。
 - ア. 指標の設定は適切か
 - イ. 目標値、見込値の設定は適切か

- (2) 外部評価委員会 開催日 第1回 平成30年11月22日(木)
 第2回 平成30年11月28日(水)
 開催場所 笠間市役所 教育棟 2階 教育委員会室

(3) 外部評価委員会委員(敬称略)

職名	氏名	備考
委員長	小川 哲哉	茨城大学教授
副委員長	深澤 日出男	元 笠間市PTA連絡協議会長
委員	木村 由希	常磐短期大学准教授
委員	藤岡 理香	元 笠間市教育振興基本計画策定委員会委員
委員	犬塚 晶加里	デザイン会社経営

4 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への報告

点検・報告の結果については、報告書を作成し市議会へ報告します。

(2) 公表

報告書を市ホームページにより公表します。

5 教育目標

知性を高め ひとりひとりのもちまえを伸ばす

「知性を高め」とは

学校教育を含め、生涯にわたって学びの力を培うという観点から、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けていくことをいう。

「もちまえを伸ばす」とは

その人がもっているよさ（個性）を大切にするとともにそれが発揮できるようにすることをいう。

自然や文化を大切に し 郷土を愛する心をつちかう

「自然や文化を大切に」とは

（市民憲章にあるまちづくりのねがいとも重なる）生まれ育った郷土である笠間の自然や歴史と共にはぐくまれた文化を大切にし、未来に受け継いでいくことをいう。

「郷土を愛する心をつちかう」とは

笠間の自然や文化を大切にし、ふるさと笠間を愛する心をつちかい、郷土の発展に努めることをいう。

豊かな感性をはぐくみ 健やかな身体を養う

「豊かな感性をはぐくみ」とは

自らを律しつつ、社会の一員としての責任感や規範意識を持ち、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな感性(人間性)をはぐくむことをいう。

「健やかな身体を養う」とは

たくましく生きるための健康や体力をいう。

6 点検・評価事業一覧

- (1) 図書館
 - ①図書館サービス事業

- (2) スポーツ振興課
 - ②県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業

 - ③スナッグゴルフ大会事業

- (3) 生涯学習課
 - ④笠間市成人式事業

 - ⑤全国こども陶芸展事業

- (4) 公民館
 - ⑥市民美術展覧会・公民館まつり事業

- (5) 学校給食センター
 - ⑦管理運営事業

- (6) 学務課
 - ⑧学力向上支援事業

 - ⑨特別支援教育支援員配置事業

7 評価事業の結果

図書館サービス事業（図書館）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 新規登録者数が増加している点は、特に評価できる。
- 6年連続で貸出数が1位というのはとても素晴らしいこと。
- ライブラリーカフェなどの新しい取組も進めていただきたい。
- 図書館利用のアピールを努力しており、幼年期からのアピールはとても良い。
- 増加する書籍の管理・分別に期待する。

県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業（スポーツ振興課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 中学生向けの駅伝大会事業としては素晴らしいものだと思う。
- 事故や健康面での対応はしっかりしていただきたい。（AEDなど）
- 参加費は、参加側の動機付けになると思うので、継続。必要に応じて増額も考慮できるのではないかと思う。
- 参加チーム数や参加人数を増やすということではなく、中学生がこの大会に参加することで、健全な身体や心を育むことが目的である。

スナッグゴルフ大会事業（スポーツ振興課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 非常に良い試みである。地域の活性化、異世代交流、ジェントルマンの教育など、小学生向けに行うことの重要性が感じられる。
- さらに積極的な広報を進めていただきたい。
- 地域ボランティアとのつながりを含め、学校やゴルフ場といったところと協力しながら、積極的な参加が実現されている事業である。
- 引き続き、精神性を高められるよう指導の上、継続を望む。

笠間市成人式事業（生涯学習課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 特に、トラブル等が無いようなので、例年通り継続していただければと思う。
- 実行委員会については、ぜひ、引継が出来るようなシステムを作っていただきたい。
- 18歳成人の成人式に向けての準備も進めていただきたい。
- 出席率の高さに驚きました。大人として上手くサポートしつつ継続してほしい。

全国こども陶芸展事業（生涯学習課）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 全国的に高い知名度を持っている事業なので、ぜひ、継続してほしい。
- 若干のマネリ化している感じがあるため、新しい取組を考えていただきたい。
- 北海道美瑛市とのコラボも考えてほしい。（かさまから派生した）
- こども陶芸展を広報するとともに、笠間焼を展示、アピールするアイデアがあるべき。限られた事業でも地域振興を交えられるように願う。

市民美術展覧会・公民館まつり事業（公民館）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 作品が一部の団体や年齢の方々に固定化しないように、もっと広報活動を行っていただきたい。
- iPad等を活用した動画作品等、若年層にも興味のある部門を検討していただきたい。
- 高校生の作品は、引き続き出展の働きかけを行ってほしい。
- 子どもの絵の投票、表彰、アイデア賞等を導入したらどうかと思う。子ども向けワークショップとの抱き合わせや幼児教育施設や高齢者施設との連携が必要である。

管理運営事業（学校給食センター）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 岩間の施設は設備の更新が近付いている。友部の自校給食の廃止も含め、長期的な整備計画が必要。
- 地産地消の更なる努力を要望するとともに、笠間の農業力を小中学生を通じて各世帯へアピールできると良い。
- 必要に応じ、必要な回数以上の点検・検査等が行われており、特に、大きな課題点は見受けられなかった。
- 調理業務委託業者の管理をお願いしたい。ブラックボックスになってはいけない。

学力向上支援事業（学務課）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 新学習指導要領でも示されているように、基礎学力の向上と情報活用能力の向上の二つを高める教育改善は、ぜひ進めていただきたい。
- 児童生徒の「やる気」を引き出す、教師の力量形成を育成する研修等の実施も検討していただきたい。
- 学力向上は、児童生徒の興味を引き出せるかどうかで変わる。
- ティームティーチングの取組は良いが、それをどこに重点を置いて配置するか判断が重要。アドバイザー的な位置づけの人材が必要である。

特別支援教育支援員配置事業（学務課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 一般の教員に対する特別支援の教育の充実を、ぜひ進めてください。
- 繊細な問題であり、注意深い対応が必要。引き続き、親・教育現場・教育委員会の最大の協力をお願いしたい。
- 研修の充実をお願いしたい。
- 支援員も含め、保護者と学校とのミーティングが出来ると良い。

8 事業個別評価書

別紙「平成30年度笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書」による。

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	図書館サービス事業					
担当部署	図書館	事業費	笠間 105,078千円 友部 1,442千円 岩間 529千円			
事務事業概要						
図書館法に基づき、市民生活に必要な図書館資料（図書、記録その他必要な資料）を収集・整理・保存して、市民一般の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として図書館サービスを展開している。生涯学習の時代に、市民誰もが学び、市民生活に生かせるよう各種の資料をはじめ、必要な情報や機会の提供を行っている。						
事務事業の目的と手段		指標の設定	H29実績	H29目標		
目的	①対象	利用者・市民	対象指標	各地区市民 笠間 25,647人 友部 35,962人 岩間 15,056人	笠間 27,000人 友部 35,900人 岩間 15,500人	
	②事務事業の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活の質を高め、豊かで安心できるものとなるよう様々な学習機会・情報が得られる。 ・市民、利用者からの資料案内・調査（レファレンス）に的確に応える。 ・事業への参加を通して子育て支援が得られ、読書活動や図書館利用が盛んになる。 	⇨	成果指標	入館者数 笠間 208,964人 友部 189,872人 岩間 99,220人	笠間 280,000人 友部 250,000人 岩間 120,000人
			資料貸出冊・点数	笠間 484,888冊 友部 500,767冊 岩間 212,946冊	笠間 570,000冊 友部 470,000冊 岩間 231,000冊	
			おはなし会・読書フェスティバル参加者	笠間 810人 友部 913人 岩間 471人	笠間 1,500人 友部 1,600人 岩間 380人	
			活動指標	開館日数 笠間 296日 友部 296日 岩間 294日	笠間 298日 友部 298日 岩間 295日	
			開館時間	笠間 2,953時間 友部 2,953時間 岩間 2,935時間	笠間 2,973時間 友部 2,973時間 岩間 2,945時間	
			資料購入点数	笠間 6,328点 友部 6,990点 岩間 3,553点	笠間 6,830点 友部 6,500点 岩間 3,400点	
	おはなし会・読書フェスティバル開催日数	笠間 66日 友部 60日 岩間 45日	笠間 80日 友部 62日 岩間 52日			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 2名・概ね適切 2名・不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○新規登録者数が増加している点は特に評価できる。</p> <p>○ネット環境の充実は、今後も進めていただきたい。</p> <p>○ライブラリーカフェなどの新しい取組も進めていただきたい。</p> <p>○図書館利用のアピールを努力しており、幼年期からのアピールはとても良い。</p> <p>○増加する書籍の管理・分別に期待する。</p> <p>○インターネットでの予約や各館での受取が出来ることなど、広報を充実すると良い。</p> <p>○今後の方向性を示していただきたい。</p> <p>○三館独自の課題・方向性を知りたい。</p> <p>○足を運んでもらう企画をどんどん実施してほしい。</p> <p>○スマホを含むネット社会への対応を強化。</p> <p>○6年連続で貸出数が1位というのはとても素晴らしいこと。</p>

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業						
担当部署	スポーツ振興課	事業費	1,476千円				
事務事業概要							
<p>東京オリンピックの開催を記念して始まった中学生対象の駅伝大会であり、平成29年度に第55回を数える歴史ある大会で、中学生の健全育成と競技力向上を図ることを目的に開催している。</p> <p>男子 7区間（19.89km）・女子 7区間（15.39km）。</p>							
事務事業の目的と手段				指標の設定	H29実績	H29目標	
目的	①対象	県内中学生	⇒	対象指標	県内中学校数	39校	61校
	②事務事業の意図	中学生の心身ともに健全な育成、競技力向上を図る		成果指標	参加校数	39校	50校
					参加チーム数	95チーム	100チーム
					活動指標	開催回数	1回
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か				適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名			
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 3名・概ね適切 1名・不適切 0名			
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 2名・概ね適切 2名・不適切 0名			
今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 4名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 0名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名							
主な意見	<p>○中学生向けの駅伝大会事業としては素晴らしいものだと思う。</p> <p>○事故や健康面での対応はしっかりしていただきたい。（AEDなど）</p> <p>○青少年育成の一環として継続を望む。</p> <p>○受入側の努力として、実施環境の整備と応援者のより多くの参加をお願いしたい。</p> <p>○数値でない部分の実績についても、広報を行うとより良いと思う。</p> <p>○参加費は、参加側の動機付けになると思うので、継続。必要に応じて増額も考慮できるのではないかと思います。</p> <p>○安全に注意して継続を望む。</p> <p>○参加チーム数や参加人数を増やすということではなく、中学生がこの大会に参加することで、健全な身体や心を育むことが目的である。</p>						

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	スナッグゴルフ大会事業					
担当部署	スポーツ振興課	事業費	40千円			
事務事業概要						
毎年開催されるスナッグゴルフ全国大会の出場権を争う、茨城A地区予選会のためのプレ試合として開催することにより、選手の実践的な経験とチームワークの構築を図る。						
事務事業の目的と手段		指標の設定	H29実績	H29目標		
目的	①対象	市内小学生	⇨	対象指標 市内小学校	11校	11校
	②事務事業の意図	スナッグゴルフの普及と小学生の健全育成を図る		成果指標 参加者数	66人	66人
				活動指標 案内文書配布	1回	1回
外部評価委員会の点検・評価						
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か		適切 2名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名				
事務事業の現状把握及び課題の認識		適切 3名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名				
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている		適切 1名 ・ 概ね適切 3名 ・ 不適切 0名				
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名				
主な意見	<p>○非常に良い試みである。地域の活性化、異世代交流、ジェントルマンの教育など、小学生向けに行うことの重要性が感じられる。</p> <p>○さらに積極的な広報を進めていただきたい。</p> <p>○道徳教育にも活用していただきたい。すべて自己申告で勝敗が決まるスポーツであり、紳士的な振舞いや道徳観が養われる。</p> <p>○学校によってチームの構成が違っている現状がある。公平性を保つための指標が必要かもしれない。時間が許せば、学年別にするのも良いのではないか。</p> <p>○地域ボランティアとのつながりを含め、学校やゴルフ場といったところと協力しながら、積極的な参加が実現されている事業である。</p> <p>○参加者数の上限は理解できる一方、予選大会等、裾野がより広がるような取組も考えられるかと思う。</p> <p>○引き続き、精神性を高められるよう指導の上、継続を望む。</p> <p>○ゴルフ自体が不況の産業であるから、若い世代に繋げていかなければいけない。</p> <p>○高校生が地元に戻ってイベントをするなどがあると広報になるのでは。</p> <p>○少人数校の児童を集めて、定期的に練習場所を提供する取組があつて良い。</p>					

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	笠間市成人式事業						
担当部署	生涯学習課	事業費	2,988千円				
事務事業概要							
<p>成人式は、合併当初は旧市町毎にそれぞれの公民館で開催していたが、平成20年度より、民間施設を借用し、一箇所で開催していた。しかし、平成27年度に同施設の営業形態が無くなったことで、その年度より、笠間市民体育館へ会場を移し実施している。</p> <p>成人式の内容は、式典・アトラクション・記念撮影で構成されており、成人者に対する記念品として記念写真を送っている。</p> <p>また、当日の式典やアトラクションの進行は、該当者で組織する「笠間市成人式実行委員会」が中心となって行っている。</p>							
事務事業の目的と手段		指標の設定	H29実績	H29目標			
目的	①対象	成人式該当者	⇨	対象指標	成人式該当者数	665人	720人
	②事務事業の意図	該当者の自己意識の啓発と郷土愛の高揚		成果指標	成人式参加者数	562人	700人
				活動指標	実行委員数	10人	7人
				実行委員会開催回数	5回	5回	
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か		適切 2名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名					
事務事業の現状把握及び課題の認識		適切 2名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名					
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている		適切 2名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名					
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 4名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 0名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名					
主な意見	<p>○特に、トラブル等が無いようなので、例年通り継続していただければと思う。</p> <p>○実行委員会については、ぜひ、引継が出来るようなシステムを作っていただきたい。</p> <p>○18歳成人の成人式に向けての準備も進めていただきたい。</p> <p>○成人式に参加する若者の意識は、「まつり」的な感覚が主であろうと思う。中高生の時からの成人式に対する意識付けが出来れば。</p> <p>○式典は、県外在住者の帰省や旧友との再会の機会になっており、引続き継続をお願いしたい。</p> <p>○参加者の指標設定について、人数よりも割合（対象者の○%）のほうが良い。</p> <p>○出席率の高さに驚きました。大人として上手くサポートしつつ継続してほしい。</p> <p>○18歳が成人式に参加する場合、センター試験等も考慮して開催時期を考える必要がある。</p>						

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	全国こども陶芸展事業							
担当部署	生涯学習課	事業費	6,606千円					
事務事業概要								
陶芸を通して子ども達の豊かな感性を養い、自由な想像力を発揮する場の提供をすると同時に「陶芸の里かさま」を全国に発信する。また、市内の児童生徒を対象に出展する作品づくりのための陶芸教室を開催している。								
事務事業の目的と手段		指標の設定	H29実績	H29目標				
目的	①対象	全国の小中学生、市内小中学生	⇨	対象指標	全国の小中学生数	9,804,344人	10,000,000人	
	②事務事業の意図	茨新聞社と連携を図り、こども陶芸展の開催	⇨	成果指標	作品応募数	1,684人	1,300人	
				⇨	成果指標	展示会来場者数	3,350人	3,000人
					活動指標	陶芸教室の開催校数	16校	16校
外部評価委員会の点検・評価								
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か				適切 2名・概ね適切 2名・不適切 0名				
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 1名・概ね適切 3名・不適切 0名				
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 2名・概ね適切 2名・不適切 0名				
今後の方向性				<input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名				
主な意見	<p>○全国的に高い知名度を持っている事業なので、ぜひ、継続してほしい。</p> <p>○若干のマンネリ化している感じがあるため、新しい取組を考えていただきたい。</p> <p>○北海道美瑛市とのコラボも考えてほしい。（かさまから派生した）</p> <p>○こども陶芸展を広報するとともに、笠間焼を展示、アピールするアイデアがあるべき。限られた事業でも地域振興を交えられるように願う。</p> <p>○「マンネリ化」への対応を考慮することで、より発展することを希望する。</p> <p>○茨城新聞社への負担金の使途を明記してほしい。</p> <p>○有名人、プロとのコラボ等、テコ入れを適宜行いつつ、さらに実りのあるものにしてほしい。</p> <p>○笠間焼窯元の作品を置くなど、PRをすることはできないか。せっかくの陶芸展だが、絵画の作品展などと同じではもったいない。</p>							

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	市民展覧会・公民館まつり事業							
担当部署	公民館	事業費	市民展覧会 374千円 公民館まつり 453千円					
事務事業概要								
市民展覧会は、多くの芸術創作を試みる市民から作品を公募し、広く市民が芸術を鑑賞できる機会を設けるものである。公民館まつりは、公民館を利用する各団体で取得した技術の成果と発表の場を設けることにより、市民相互における文化交流を目的としている。								
事務事業の目的と手段		指標の設定	H29実績	H29目標				
目的	①対象	一般市民	⇨	対象 指標	参加団体数 (公民館まつり)	笠間 33 団体 友部 92 団体 岩間 37 団体	笠間 35 団体 友部 90 団体 岩間 46 団体	
					作品点数 (公民館まつり)	笠間 668 点 友部 1,900 点 岩間 604 点	笠間 1,000 点 友部 2,000 点 岩間 710 点	
					作品点数 (市民美術展)	158 点	180 点	
	②事務事業の 意図		市民の作品を鑑賞できる機会を設け、芸術振興を図る。	⇨	成果 指標	参加団体数 (公民館まつり)	笠間 33 団体 友部 92 団体 岩間 37 団体	笠間 35 団体 友部 90 団体 岩間 46 団体
						作品点数 (公民館まつり)	笠間 668 点 友部 1,900 点 岩間 604 点	笠間 1,000 点 友部 2,000 点 岩間 710 点
						作品点数 (市民美術展)	158 点	180 点
					活動 指標	参加団体数 (公民館まつり)	笠間 33 団体 友部 92 団体 岩間 37 団体	笠間 35 団体 友部 90 団体 岩間 46 団体
						作品点数 (公民館まつり)	笠間 668 点 友部 1,900 点 岩間 604 点	笠間 1,000 点 友部 2,000 点 岩間 710 点
						作品点数 (市民美術展)	158 点	180 点
	外部評価委員会の点検・評価							
	事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か		適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名					
	事務事業の現状把握及び課題の認識		適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名					
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている		適切 0名・概ね適切 5名・不適切 0名						
今後の方向性		□現行どおり継続 1名 ■改善し、継続 4名 □休止 0名 □廃止 0名						

<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○作品が一部の団体や年齢の方々に固定化しないように、もっと広報活動を行っていただきたい。 ○i P a d等を活用した動画作品等、若年層にも興味のある部門を検討していただきたい。 ○高校生の作品は、引き続き出展の働きかけを行ってほしい。 ○幅広い年齢層の出店を実現できるように、公募方法に工夫を。 ○実行委員構成員の方向性だけでなく、目的意識のある事務局の感覚も大事であるかも。 ○生涯学習としても大変重要な位置づけとなるため、創意工夫をお願いしたい。 ○幅広い世代にさまざまな角度から芸術・美術に触れる機会としていったらと考える。 ○子どもの絵の投票、表彰、アイデア賞等。子ども向けワークショップとの抱き合わせ。幼児教育施設や高齢者施設との連携。 ○二つの事業を関連付けると、予算や人材、場所等のより効率的な利用につながるのでは。広報もより大規模に広がりを持てるのではと思う。 ○指標については、参加人数、点数以外にも来場者数などを入れるのも一案。 ○老若男女、あらゆる世代が集まり、交流できる事業になるよう期待。（動画・映画・イラスト部門等） ○市民展の広報の枠がせまい。幅広く公募して、入選作品のみを展示するという形にしては。 ○公民館まつりを予選的な扱いにして、優秀な作品を市民展に出展するなどしてはどうか。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名		管理運営事業					
担当部署		学校給食センター	事業費	笠間学校給食センター 40,167千円 岩間学校給食センター 8,982千円			
事務事業概要							
安全で安心な学校給食を提供するため、学校給食従事者の健康管理の徹底と施設・設備等の定期的な保守点検を行い、安全に調理ができるよう維持管理に努める。							
事務事業の目的と手段			指標の設定		H29実績	H29目標	
目的	①対象	学校給食従事者及び給食施設設備	対象指標	学校給食従事者	笠間 34人 岩間 16人	笠間 34人 岩間 16人	
				給食センター数	笠間 1施設 岩間 1施設	笠間 1施設 岩間 1施設	
	②事務事業の意図	学校給食従事者の健康管理と施設・設備等の定期的な保守点検を行い、安全に調理ができるよう維持管理に努め、安全で安心な学校給食を提供する。	成果指標	調理場事故(怪我)件数	笠間 0件 岩間 0件	笠間 0件 岩間 0件	
				活動指標	保守点検件数	笠間 84件 岩間 33件	笠間 80件 岩間 33件
					修繕・改修件数	笠間 12件 岩間 31件	笠間 0件 岩間 33件
			年間給食回数	笠間 196回 岩間 197回	笠間 197回 岩間 198回		
外部評価委員会の点検・評価							
事務事業の目的及び達成状況を測る指数はお適切か				適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名			
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名			
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名			
今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名							
主な意見		<p>○下水道のインフラの問題は、ぜひとも対策を考えていただきたい。</p> <p>○公共下水道の設置を検討してほしい。</p> <p>○各種の点検が業者任せになっている。適切な管理を行っていただきたい。食の安全のためには十分な配慮が必要。</p> <p>○岩間の施設は更新が近付いている。友部の自校給食の廃止も含め、長期的な計画が必要。</p> <p>○地産地消の更なる努力を要望するとともに、笠間の農業力を小中学生を通じて各世帯へアピールできると良い。</p> <p>○必要に応じ、必要な回数以上の点検・検査等が行われており、特に、大きな課題点は見受けられなかった。</p> <p>○「食育」の視点での運営をさらに期待したい。</p> <p>○指標については、保守点検件数も大切ですが、その結果と結果に応じた対応の有無等を入れるのも一案。</p> <p>○可能であれば、生徒へのアンケートを簡単に行い、結果を参考に献立を作るのも良い。</p> <p>○子どもが献立を考える日はどうか。食への関心が高まる。</p> <p>○笠間市で使えるものは、すべて笠間市から供給を受けるのが一番いい。</p> <p>○調理業務委託業者の管理をお願いしたい。ブラックボックスになってはいけない。</p>					

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	学力向上支援事業					
担当部署	学務課	事業費	41,402千円			
事務事業概要						
<p>平成18年度から実施してきた、小中学校特色ある学校づくり事業から、平成23年度学力向上支援事業へ事業移行し、学力調査等に見られる実態や各校の学力に係る課題への対応として、各校が自主性を発揮し、学力向上に向けた活動を推進してきた。さらに、平成25年度より一人一人に確かな学力を身に付けさせるため、非常勤講師を各校に配置し、複数教員が役割を分担、協力し合い授業を展開し学力向上を図る。</p>						
事務事業の目的と手段		指標の設定	H29実績	H29目標		
目的	①対象	市内小・中学生（5月1日現在）	対象指標	児童数 3,697人	3,510人	
	②事務事業の意図	非常勤講師の配置	⇨	成果指標	生徒数 2,007人	2,067人
				非常勤講師数	22人	22人
				全国学力調査小学6年生の平均正答率	1%	2%
				全国学力調査中学3年生の平均正答率	-0%	1%
				全国学力・学習状況調査総合平均正答率（小学校における全国との比較）	-0.2ポイント	0ポイント
				全国学力・学習状況調査総合平均正答率（中学校における全国との比較）	-0.6ポイント	0ポイント
				活動指標	小学校数	10校
	中学校数	5校	5校			
	義務教育学校	1校	1校			
外部評価委員会の点検・評価						
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名					
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名					
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 1名・概ね適切 4名・不適切 0名					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名					

<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領でも示されているように、基礎学力の向上と情報活用能力の向上の二つを高める教育改善は、ぜひ進めていただきたい。 ○基礎が出来てからアクティブラーニングとなりがちだが、アクティブラーニングの中で基礎を身に付けるような教材開発が必要になっている。 ○可能であれば、学習塾等の学習産業との連携も視野に入れて、教育改革を進めていただきたい。 ○児童生徒の「やる気」を引き出す、教師の力量形成を育成する研修等の実施も検討していただきたい。 ○学力向上は、児童生徒の興味を引き出せるかどうかで変わる。 ○チームティーチングを活用し、目標達成には何が必要か、（例えば基礎）理解できるように指導すべき。 ○実生活の中には国語があり、数学があり、理科、英語がある。実生活で生きる学習があることを意識付け。 ○塾に通う子とそうでない子を把握し、他機関との連携を含めた学習支援がさらに望まれる。 ○チームティーチングの取組は良いが、それをどこに重点を置いて配置するか判断が重要。アドバイザー的な位置づけの人材が必要である。 ○習熟度別のクラス編成では、社会勉強にならないという問題がある。 ○担任経験のない方もいるでしょうから、講師の方のケアや研修を充実していただきたい。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名		特別支援教育支援員配置事業						
担当部署		学務課	事業費	25,740千円				
事務事業概要								
小学校において障害のある児童に対し、食事・排泄・教室移動補助など学校における日常生活動作の介護を行ったり、発達障害の児童に対し、学習活動上のサポートする「特別支援教育支援員」を配置する。								
事務事業の目的と手段				指標の設定		H29実績	H29目標	
目的	①対象	障害のある児童		⇨	対象指標	支援者数	24人	17人
	②事務事業の意図	学校生活上、障害等により配慮が必要な児童に支援員を配置する			成果指標	支援員数	24人	17人
					活動指標	支援員配置校	12校	10校
						支援員配置時間	27,657時間	11,200時間
外部評価委員会の点検・評価								
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名				
事務事業の現状把握及び課題の認識				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名				
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている				適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名				
今後の方向性				<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名				
主な意見		○予算面だけでなく、人的資源の活用を考えていただきたい。 ○一般の教員に対する特別支援の教育の充実を、ぜひ進めてください。 ○保護者への対応も重要な課題である。対象の児童に対する配慮をどのようにすればいいのか、教員への対応方法の指導等が必要。 ○繊細な問題であり、注意深い対応が必要。引き続き、親・教育現場・教育委員会の最大の協力をお願いしたい。 ○人材の確保は急務である。広報を工夫する（口コミ等含め）。 ○子育てがひと段落し、支援員の仕事を始める人は多い。条件等口コミで広がることもあるので、幼稚園等の保護者に呼び掛けてみるのも一案か。 ○研修の充実をお願いしたい。 ○支援内容が多岐にわたり、家庭との兼ね合いなど難しい事業だが、一人一人に必要な支援が行き渡るよう、公平に行ってほしい。 ○支援員の指導やケアを十分に行ってほしい。 ○支援員も含め、保護者と学校とのミーティングが出来ると良い。 ○出来る限り支援員は増やしていただきたい。						

評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標

(1) 評価番号1 図書館サービス事業

指標名	H27 基準値	H29 実績	H33 目標	具体的な取組
図書館利用新規登録者数	2,335人	2,160人	2,210人	としょかん1年生事業で新1年生の登録を促進した。
図書館蔵書点数	570,456点	575,849点	653,000点	利用者のニーズに対応できる資料の整理保存を実施した。
図書館資料案内件数 (レファレンス)	6,462件	7,887件	5,500件	分かりやすい検索・配置を整備した。
公式ツイッター フォロワー数	1,285人	2,233人	3,800人	イベントや資料等に関する情報発信に努めた。
団体貸出点数	10,132点	12,986点	11,000点	資料の充実を図り、施設や児童クラブ等に資料の提供を実施した。
学校等への貸出点数	4,784点	5,036点	4,800点	資料の充実を図り、授業に必要な資料の提供を実施した。
おはなし会・読書フェ スティバル参加者数	2,145人	2,194人	2,300人	定期的におはなし会を実施した。
図書館入館者数	624,381人	498,056人	625,000人	特集やイベント等を実施して入館者増加を図った。

(2) 評価番号5 全国こども陶芸展事業

指標名	H27 基準値	H29 実績	H33 目標	具体的な取組
作品応募数	1,319点	1,684点	1,700点	市内児童生徒を対象とした地元窯元の協力による陶芸教室の開催及びPR活動。
陶芸展来場者数	2,901人	3,350人	3,400人	茨城新聞社と連携を図りPRしていく。

(3) 評価番号8 学力向上支援事業

指標名	H27 基準値	H29 実績	H33 目標	具体的な取組
全国学力・学習状況調査 総合平均正答率 (小学校における全国との比較)	+1.3 ポイント	-0.2 ポイント	+2.0 ポイント	検討委員会を設置し、課題を分析して対策を練った。 ・パワーアップ問題の作成と実施 ・授業改善プランを用いた研究授業
全国学力・学習状況調査 総合平均正答率 (中学校における全国との比較)	-1.0 ポイント	-0.6 ポイント	+1.0 ポイント	

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の選任状況（平成30年 6月24日現在）

職名	氏名	備考
教育長	今泉 寛	委員任期 H30.6.24～H33.6.23
教育長職務代理者	永井 秀雄	委員任期 H27.6.24～H31.6.23
委員	梅里 節子	委員任期 H28.6.24～H32.6.23
委員	戸田 浩二	委員任期 H29.6.24～H33.6.23
委員	鳥羽田 信	委員任期 H30.6.24～H34.6.23

(2) 教育委員会会議の開催状況

平成29年度 教育委員会会議開催状況

	定例会	臨時会	教育委員協議会等
実施回数（回）	12	4	12
議案件数（件）	28	3	—
報告件数（件）	15	0	—

平成29年 4月25日（火） 第4回教育委員会定例会

審議案件

議案第20号 笠間市文化財保護審議会への諮問について

報告案件

報告第5号 専決処分の承認を求めることについて

報告第6号 専決処分の承認を求めることについて

報告第7号 専決処分の承認を求めることについて

報告第8号 専決処分の承認を求めることについて

平成29年 5月19日（金） 第5回教育委員会定例会

審議案件

議案第21号 笠間市外国語指導助手任用規則及び笠間市英語指導助手就業規則の一部を改正する規則について

議案第22号 第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

報告第9号 専決処分の承認を求めることについて

報告第10号 専決処分の承認を求めることについて

報告第11号 専決処分の承認を求めることについて

報告第12号 専決処分の承認を求めることについて

平成29年 6月27日(火) 第6回教育委員会定例会

審議案件

議案第23号 笠間市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

議案第24号 笠間市指定文化財の指定について

報告案件

報告第13号 専決処分の承認を求めることについて

平成29年 7月11日(火) 第3回教育委員会臨時会

報告案件

市内中学校いじめ事案の対応について

平成29年 7月13日(木) 第4回教育委員会臨時会

報告案件

市内中学校いじめ事案の対応について

平成29年 7月25日(火) 第7回教育委員会定例会

審議案件

議案第25号 平成30年度小・中・義務教育学校において使用する教科用図書並びに小・中・義務教育学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について

報告案件

報告第14号 専決処分の承認を求めることについて

報告第15号 専決処分の承認を求めることについて

報告第16号 岩間中学校のいじめ事案について

平成29年 8月18日(金) 第8回教育委員会定例会

審議案件

議案第26号 笠間市立小中学校学区に関する規則の一部を改正する規則について

議案第27号 笠間市就学援助費支給要綱の一部改正について

議案第28号 笠間市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

議案第29号 笠間市私立幼稚園等特別支援教育費補助金交付要綱について

議案第30号 平成29年第3回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

報告第17号 専決処分の承認を求めることについて

平成29年 9月26日(火) 第9回教育委員会定例会

審議案件

議案第31号 笠間市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について

議案第32号 筑波海軍航空隊記念館の設置及び管理に関する条例施行規則について

議案第33号 第48回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査における職員の兼務(充当, 事務従事)の協議について

報告案件

報告第18号 専決処分の承認を求めることについて

平成29年10月24日(火) 第10回教育委員会定例会

審議案件なし

平成29年11月17日(金) 第11回教育委員会定例会

審議案件

議案第34号 平成29年度笠間市教育委員会外部評価報告書について

議案第35号 平成29年第4回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

平成29年12月19日(火) 第12回教育委員会定例会

審議案件なし

平成30年 1月23日(火) 第1回教育委員会定例会

審議案件

議案第1号 障害を理由とする差別の解消の推進に関する教育委員会職員対応要領について

平成30年 2月13日(火) 第2回教育委員会定例会

審議案件

議案第2号 平成30年第1回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

平成30年 3月14日(水) 第1回教育委員会臨時会

審議案件

議案第3号 平成30年度笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について

平成30年 3月15日(木) 第2回教育委員会臨時会

審議案件

議案第 4号 校長の人事内申について

平成30年 3月27日(火) 第3回教育委員会定例会

審議案件

議案第 5号 笠間市立学校医, 学校歯科医及び学校薬剤師の解職及び委嘱について

議案第 6号 笠間市立学校評議員の委嘱について

議案第 7号 市史研究員の委嘱について

議案第 8号 笠間市文化財保護審議会委員の委嘱について

議案第 9号 笠間市社会教育指導員の委嘱について

議案第10号 笠間市教育委員会事務局組織規則等の一部改正について

議案第11号 笠間市特別支援教育支援員配置要綱の一部改正について

議案第12号 笠間市立学校管理規則の一部改正について

議案第13号 笠間市立学校事務の共同実施に関する規程について

議案第14号 筑波海軍航空隊記念館における利用料金の額の承認について

議案第15号 笠間市体育施設における利用料金の額の承認について

(3) 教育委員会会議以外の活動(各種会議・研修会・学校訪問等)

平成29年4月	教職員辞令交付式 幼稚園・こども園及び小・中・義務教育学校入学式 笠間市文化連盟総会 笠間市教育研究会定期総会 国体準備委員会総会 茨城県都市教育長協議会総会 茨城県市町村教育長協議会総会 茨城県市町村教育長・学校長会議 笠間市スポーツ推進委員協議会総会 笠間市文化財愛護協会総会
5月	水戸地区青少年育成市町民会議連絡協議会総会 関東地区都市教育長協議会総会 笠間市PTA連絡協議会総会 全国ICT教育首長協議会 笠間史談会総会 笠間市総合体育大会 笠間市スポーツ少年団総会 関東甲信越静岡市町村教育委員会協議会総会及び研修会 全日本合気道演武大会 笠間市体育協会総会 矢板市・笠間市子ども会交流会 茨城県市町村教育委員会連合会定期総会

6月	<p>市小学校陸上競技大会 教科用図書選定協議会 笠間市文化協会理事会（総会） いきいき茨城ゆめ国体笠間市実行委員会第3回総務企画専門委員会 コミュニティスクール推進委員会 英語教育連絡協議会</p>
7月	<p>県民総合体育大会兼国民体育大会茨城県大会 かさま陶芸の里ハーフマラソン大会実行委員会 学校警察連絡協議会 教科用図書選定協議会 いきいき茨城ゆめ国体いきいき茨城ゆめ大会実行委員会第2回総会 緊急いじめ防止対策委員会 英語インタラクティブフォーラム笠間市大会 茨城県市町村教育長協議会夏期研修会・情報交換会 「いばらき教員応援団」研修会・グループ別研修会 笠間と東京圏をつなぐ会交流会</p>
8月	<p>笠間市小学校相撲大会 笠間市小学生郷土教室 笠間市教育研究会研発表会 笠間市学校管理運営研修会 笠間市子ども会球技大会 茨城国際音楽アカデミー in かさま実行委員会 笠間市スポーツ推進審議会 いきいき茨城ゆめ国体笠間市実行委員会 第3回常任委員会 茨城県市町村教育委員会教育委員研修会</p>
9月	<p>中学校体育祭，小学校運動会 笠間中学校武道館竣工式</p>
10月	<p>茨城県文化財保護審議会 市内幼稚園・こども園運動会 笠間市教育委員会外部評価委員会 学校防災推進委員会 かさま市民運動会 茨城県合気道演武大会 学校給食地産地消推進「かさまの日」献立提供に伴う「招待給食」 小野友五郎生誕200周年記念講演会 かさま文化財公開</p>
11月	<p>「いばらき教育の日」推進大会 市町村教育委員会研究協議会 笠間市こども理科自由研究プレゼン大会 笠間市教育研究会学校事務研究会 笠間市小中学校美術展覧会 茨城県都市教育長協議会・茨城県市町村教育長会特別研修会 笠間藩校創設200周年記念特別展オープニングセレモニー 水戸地区青少年育成市町民会議連絡会研究協議会 がん教育講演会</p>

12月	笠間市学校経営研修会 かさま陶芸の里ハーフマラソン大会
平成30年1月	笠間市成人式 県下中学校交歓笠間市駅伝大会 学校事務の共同実施導入に向けた講演会 笠間市教育委員会教育実践発表会 笠間市PTA指導者研修会 茨城国際アカデミーinかさま第2回実行委員会 全国ICT教育首長サミット
2月	笠間市家庭教育学級実施報告会 茨城県市町村教育長協議会冬季研修会 国体常任委員会 いじめ防止対策委員会 人権教育講演会 歴史フォーラム 国体関東ブロック大会茨城実行委員会設立総会及び第1回総会
3月	笠間地区公民館芸能発表会 学校警察連絡協議会 幼稚園・こども園及び小・中・義務教育学校入学式 茨城国際音楽アカデミーinかさま 笠間市民球場竣工式 かさま陶芸の里ハーフマラソン実行委員会 教職員辞令交付式

笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成22年9月17日
教育委員会告示第16号

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、笠間市教育委員会(以下「教育委員会」という)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、第三者による点検及び評価を実施することにより、教育行政に対する透明性を確保するとともに、市民への説明責任を果たすため、笠間市教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会が実施する施策や事業等の点検及び評価を行う。

(組織)

第3条 委員会は、5人以内の委員で組織する。

2 委員は、教育に見識を有するものの中から教育長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に行われる会議は、教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、委員会において関係者の出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。

5 委員会の会議は、公開とする。ただし、委員会の決定があったときは、非公開とすることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、学務課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。